

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2001-351241 (P2001-351241A)

【公開日】平成 13 年 12 月 21 日 (2001.12.21)

【出願番号】特願 2000-175893 (P2000-175893)

【国際特許分類】

**G 1 1 B 7/0045 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/007 (2006.01)**

**G 1 1 B 19/12 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 7/0045 B

G 1 1 B 7/007

G 1 1 B 19/12 5 0 1 N

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 29 日 (2007.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】光記録装置、光記録方法、及び光記録媒体、並びに撮像装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 記録媒体に対して光記録によってデータの記録を行う光記録装置であって、

上記記録媒体に対してデータを書込む書込み手段と、

上記記録媒体の試し書き領域の所定位置に記録された試し書き以外の付加情報を読取る読取り手段と、

上記読取った付加情報に応じて上記記録媒体に対する書込みを制御する制御手段とを有すること

を特徴とする光記録装置。

【請求項 2】 上記読取り手段は、上記試し書き領域以外の領域に記録された情報を読取り、

上記制御手段は、上記付加情報と上記情報とを用いて識別動作を行うこと

を特徴とする請求項 1 記載の光記録装置。

【請求項 3】 上記制御手段は、上記付加情報を識別できない場合には、記録媒体に対する書込みを実行しないことを特徴とする請求項 2 記載の光記録装置。

【請求項 4】 上記試し書き領域は、上記書込み手段の調整のための試し書きに使用される領域であることを特徴とする請求項 1 記載の光記録装置。

【請求項 5】 上記付加情報は、記録媒体の識別情報であることを特徴とする請求項 1 記載の光記録装置。

【請求項 6】 上記付加情報は、アナログ量として記述されていることを特徴とする請求項 1 記載の光記録装置。

【請求項 7】 記録媒体に対して光記録によってデータの記録を行う光記録装置であって、

上記記録媒体の試し書き領域の所定位置に記録された試し書き以外の付加情報を読取って、

上記読取った付加情報に応じて上記記録媒体に対する書込みを制御すること  
を特徴とする光記録方法。

【請求項 8】 上記試し書き領域以外の領域に記録された情報を読取り、  
上記付加情報と上記情報とを用いて識別動作を行うこと  
を特徴とする請求項 7 記載の光記録方法。

【請求項 9】 上記付加情報を識別できない場合には、記録媒体に対する書込みを実行しないことを特徴とする請求項 8 記載の光記録方法。

【請求項 10】 上記試し書き領域は、上記書込みを調整するための試し書きに使用される領域であることを特徴とする請求項 7 記載の光記録方法。

【請求項 11】 上記付加情報は、記録媒体の識別情報であることを特徴とする請求項 7 記載の光記録方法。

【請求項 12】 上記付加情報は、アナログ量として記述されていることを特徴とする請求項 7 記載の光記録方法。

【請求項 13】 光記録によってデータの記録が行われる光記録媒体であって、  
データを記録する際に試し書きが行われる試し書き領域と、  
上記試し書き領域以外の領域とを有し、  
上記試し書き領域は付加情報を含むこと  
を特徴とする光記録媒体。

【請求項 14】 上記試し書き領域以外の領域に他の情報を含むことを特徴とする請求項 13 記載の光記録媒体。

【請求項 15】 上記付加情報は、当該光記録媒体の識別情報であることを特徴とする請求項 13 記載の光記録媒体。

【請求項 16】 上記付加情報は、アナログ量として記述されていることを特徴とする請求項 13 記載の光記録媒体。

【請求項 17】 被写体を撮像する撮像手段と、  
撮像した画像データを処理する画像処理手段と、  
記録媒体に対してデータの記録及び / 又は再生を行う記録再生手段と、  
上記記録媒体の試し書き領域の所定位置に記録された付加情報を読取る読取り手段と、  
上記読取った付加情報に応じて上記記録媒体に対する書込みを制御する制御手段とを備えること  
を特徴とする撮像装置。

【請求項 18】 上記読取り手段は、上記試し書き領域以外の領域に記録された情報を読取り、  
上記制御手段は、上記付加情報と上記情報とを用いて識別動作を行うこと  
を特徴とする請求項 17 記載の撮像装置。

【請求項 19】 上記制御手段は、上記付加情報を識別できない場合には、記録媒体に対する書込みを実行しないことを特徴とする請求項 18 記載の撮像装置。

【請求項 20】 上記試し書き領域は、上記記録再生手段の調整のための試し書きに使用される領域であることを特徴とする請求項 17 記載の撮像装置。

【請求項 21】 上記付加情報は、記録媒体の識別情報であることを特徴とする請求項 17 記載の撮像装置。

【請求項 22】 上記付加情報は、アナログ量として記述されていることを特徴とする請求項 17 記載の撮像装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、レーザ光を使用して記録媒体に対してデータの記録を行う光記録装置、光記録方法、及びこのとき用いられる光記録媒体、並びに撮像装置に関し、特にレーザ光による試し書き領域の所定位置に書き込まれた識別情報を読み取る光記録装置、光記録方法、及びレーザ光による試し書き領域の所定位置に識別情報を記録した光記録媒体、並びにこれらを適用した撮像装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、このような従来の実情に鑑みて提案されたものであり、ライトストラテジのためのパラメータが用意されていない記録媒体、特に違法複製された記録媒体に対して書込みを行う場合に生じる書込特性及び再生時のジッタ特性の低下を防止することが可能な光記録装置及び光記録方法、ライトストラテジのためのパラメータが用意されていない記録媒体、特に違法複製された記録媒体と識別が可能な光記録媒体、並びにこのような光記録装置を適用した撮像装置を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

上述した目的を達成するために、本発明に係る撮像装置は、被写体を撮像する撮像手段と、撮像した画像データを処理する画像処理手段と、記録媒体に対してデータの記録及び／又は再生を行う記録再生手段と、記録媒体の試し書き領域の所定位置に記録された付加情報を読み取る読み取り手段と、読み取った付加情報に応じて記録媒体に対する書込みを制御する制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0134

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0134】

本発明に係る撮像装置は、被写体を撮像する撮像手段と、撮像した画像データを処理する画像処理手段と、記録媒体に対してデータの記録及び／又は再生を行う記録再生手段と、記録媒体の試し書き領域の所定位置に記録された付加情報を読み取る読み取り手段と、読み取った付加情報に応じて記録媒体に対する書込みを制御する制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0136

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0136】

したがって、本発明に係る撮像装置は、ライトストラテジのためのパラメータが用意さ

れていない記録媒体、特に違法複製された記録媒体を識別することが可能であり、ライトストラテジのためのパラメータが用意されていない記録媒体、特に違法複製された記録媒体に対して書込みを行う場合に生じる書込特性及びジッタ特性の低下を防止することが可能である。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 7】

また、試し書き領域に付加情報を含む光記録媒体に対応する撮像装置は、一般に、追記型及び／又は書換型の記録媒体に対して書込み及び読出しを行う記録再生装置のソフトを一部変更することで実現可能であるため、低コストで実現される。